

箱 根 山

○ 火山活動評価：静穏な状況

18 日から 19 日にかけて地震が一時的にやや多発しましたが、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○ 概況

・ 地震活動（図 1、図 2）

18 日から 19 日にかけて駒ヶ岳付近の浅いところを震源とする地震がやや増加しました。最大地震は 18 日 04 時 35 分に発生したマグニチュード¹⁾2.5 の地震で、この地震を含めて、箱根町湯本で震度 1 を観測する地震が 3 回発生しました。

箱根山では 2001 年 6 月から 12 月にかけて、駒ヶ岳周辺を震源とする活発な地震活動（最大地震は M2.8）があり、その後も年に 1 回程度の割合で一時的な地震の多発が繰り返されていますが、火山活動に特段の変化はみられていません。

1) マグニチュード (M) は地震の規模を示す。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがある。

・ 地殻変動

気象庁の体積歪計²⁾や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計³⁾による地殻変動観測では、今回の地震活動に関連した変化はみられませんでした。国土地理院の広域の GPS による地殻変動観測によると、今年 8 月頃から箱根山を挟む基線で、深部での変動を示すと考えられるわずかな伸びが観測されています。

2) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

3) 地面の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

この資料は気象庁のほか、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています (承認番号：平 17 総使、第 503 号)。

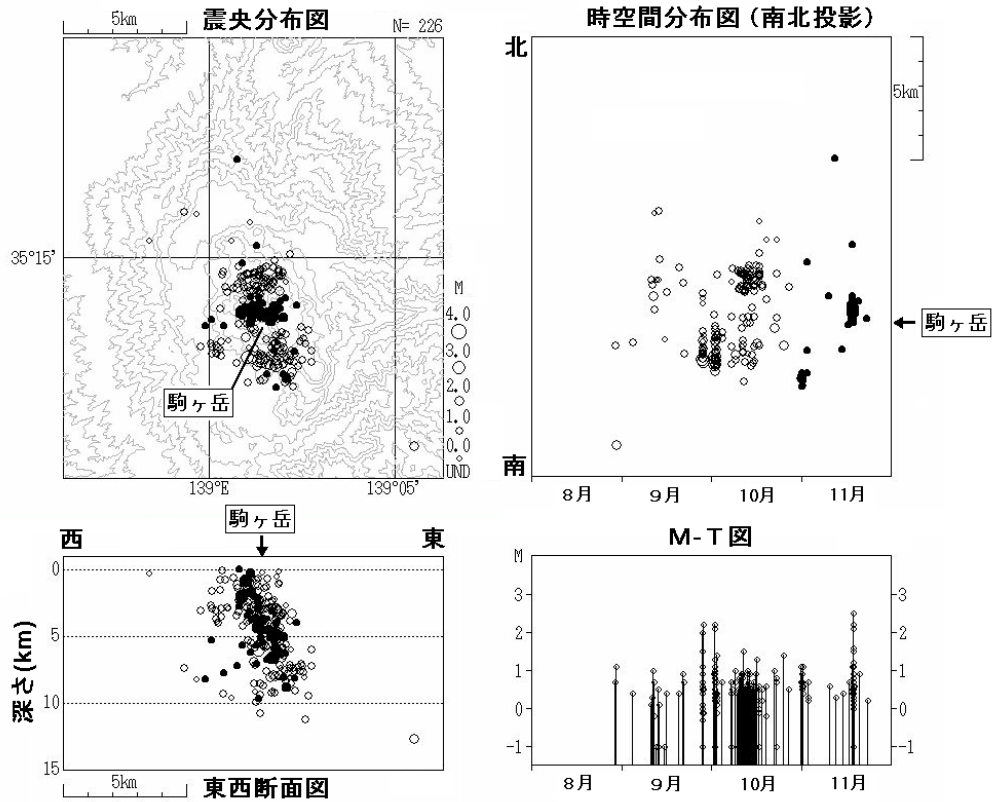


図 1 箱根山 地震活動経過(2006 年 8 月 1 日～11 月 30 日、Mはマグニチュード¹⁾)

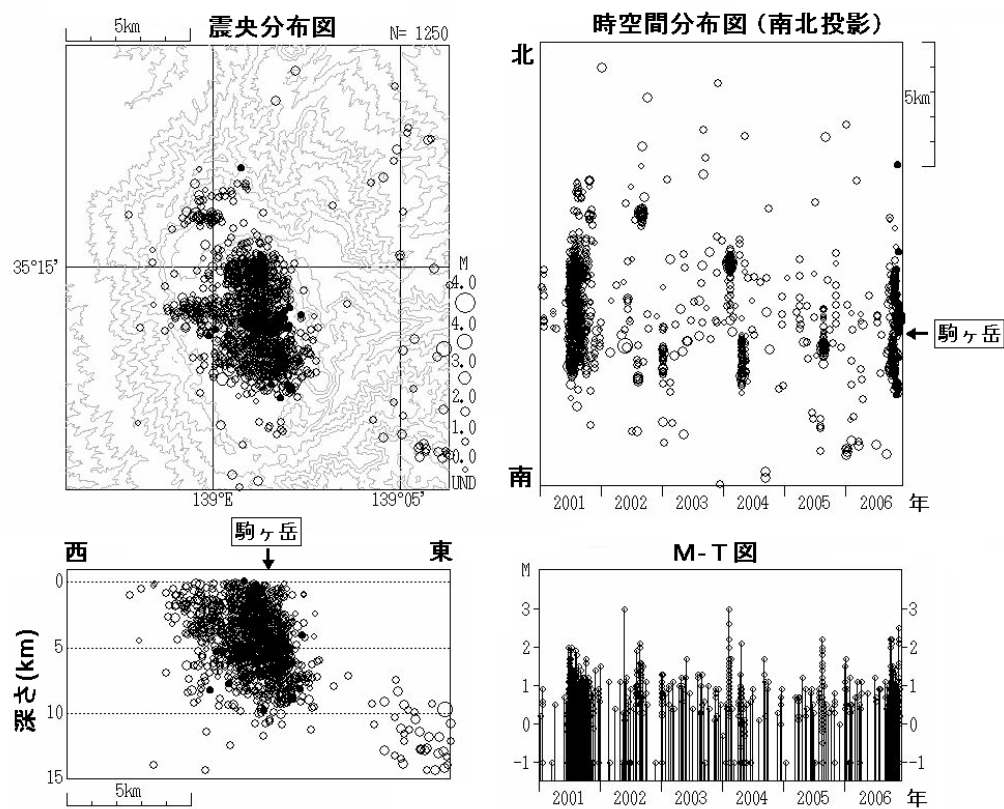


図 2 箱根山 地震活動経過(2001 年 1 月 1 日～11 月 30 日、Mはマグニチュード¹⁾)

○ 観測点情報

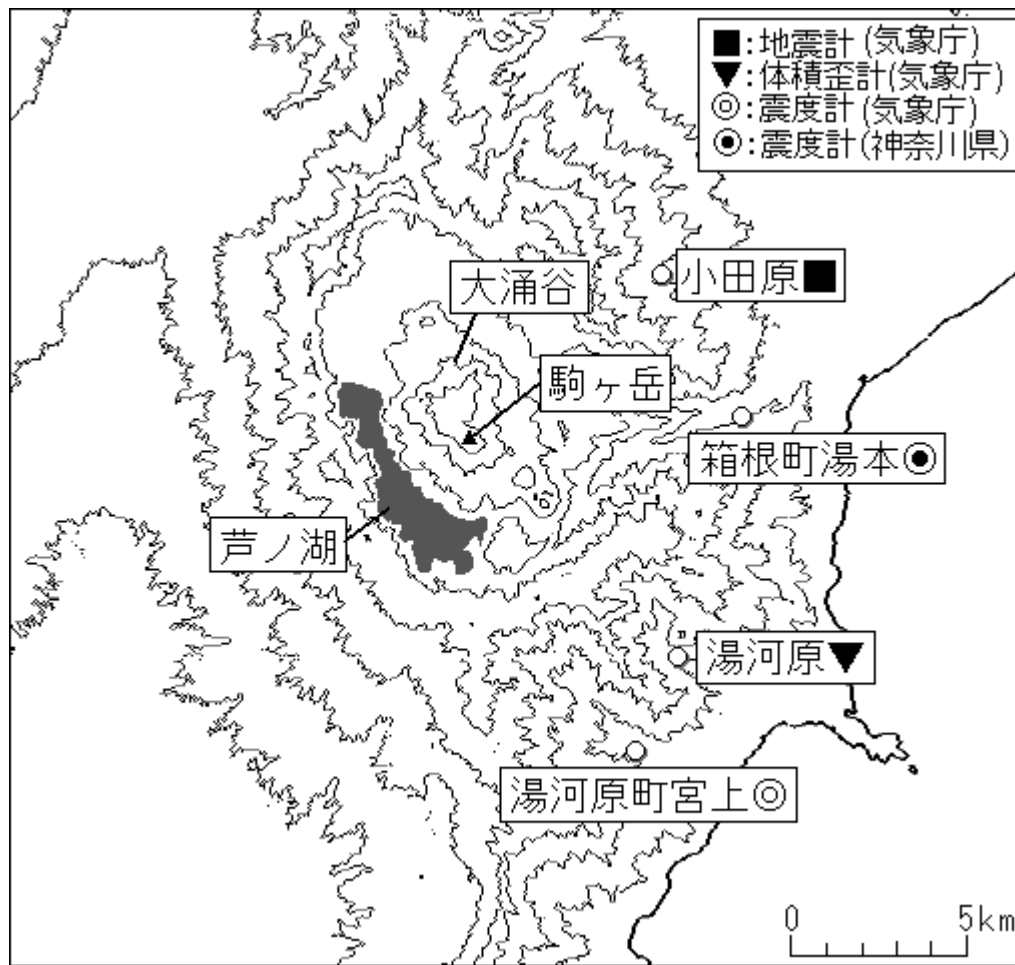


図3 箱根山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
 なお、図中には神奈川県箱根町湯本震度観測点も含めてあります